



カンボジア北西部チョンカル村における国際教育協力事業

—2013年度運動会プロジェクト活動報告—

報告者: 海野勇三
(教育学部国際教育協力プロジェクト 体育分野担当)

YAMAGUCHI UNIVERSITY



対象地域について



ODDAR MEANCHHEY 州

- 人口: 185,443 (1.4%)
- 人口増加率は全国2番目 (2008年)
- タイとの国境に近く、比較的情勢が不安定な地域



ODDAR MEANCHHEY 州の小学校

- > 197校 (2012)
- > 児童数: 38506名、教員数: 819名
- 教員1人あたりの児童数: 47名

本研究では、中でも農村部にあたるチョンカル村の学校を対象とした




報告の柱



1. 2013年度支援活動の当初構想
2. 支援活動の実際
3. 得られた成果と課題
4. 2014年度支援活動の計画

実施体制(総勢72名)



1. 教育学部国際教育協力プロジェクトとしての取り組み
2. 山口大学を主管大学として5大学の共同事業としての取り組み
(山口大学・中村学園大学・西南学院大学・近畿大学九州短期大学・福岡大学)
3. 本学学生のカンボジア教育支援プロジェクト(おもプロ)との共同事業としての取り組み

2013年度支援活動の当初構想




「感動しました。運動会をこれから先、チョンカル村の小中学校全体に広げていきたい」

「いつでもお手伝いさせていただきます」



支援活動の実際: 1 (実踏調査: 8/29~9/3)



1. JICAプノンペン事務所を表敬訪問し事業計画を報告
2. 日本のNPO (Hearts of Gold) を訪問し、カンボジアの体育教育振興への支援方略に関する協議
3. 日本のNPO (21世紀のカンボジアを支援する会) を訪問し、国際協力の事業運営に関し協議
4. シェムリアップ州PTTC (初等教員養成所) を訪問し、教員養成プログラムの実施支援に関する協議
5. チョンカル郡教育事務所及び関係機関との協議

支援活動の実際：2 (現地活動：11/23～12/1)



1. 運動会の実施
2. 現職教員研修会
3. 発育発達状況調査
4. 児童生徒・教員へのアンケート調査
5. 州知事・教育事務所長・村長との協議

得られた成果



- 1) 教育学部のリソースを生かした国際協力・国際貢献の推進
：保健体育・理科・美術・・・
- 2) 学生の中に国際協力・異文化体験を求める空気が広がった
：学生による自主的なボランティア組織の結成、海外青年協力隊
- 3) 大学としての地域貢献の新しい形を創造
：「支援」したいとの思いを持つ市民・企業・団体と「支援」を求める現地の人々との間を繋ぐという仕組み
- 4) 山口大学を基幹大学とする大学間連携の広がり
：7大学による共同事業へ、JICA草の根技術協力事業への申請へ
- 5) メディアを通じての山口大学の社会的認知度のUP
：2年連続での入学志願者

2014年度支援活動の計画



1. 実踏調査 (2014年8月29日～9月5日)
2. 第3期プロジェクト (2014年11月22日～30日)
3. 第4期プロジェクト (2015年3月5日～13日)

今年度も、危機管理の一環として看護師の帯同をお願いしたい